



**鍛錬された
そば打ち技術を披露**
第20回全日本素人そば打ち名人大会十勝予選会ほか開催

素人のそば打ち愛好家がそば打ち技術を競う「第20回全日本素人そば打ち名人大会十勝予選会（全十勝手打ち蕎麦推進協議会主催）」ほか4つの大会が6月13、14日の2日間に渡り、町公民館ふれあいホールで開催されました。

素人そば打ち段位認定十勝大会では、町内から初段位に挑んだ大内美千代さん、齋藤敏次さん、二段位には吉村学さん、伊藤繁さんの全員が合格しました。

仮装してそば打ちをする「迷人戦」では虎の被り物や警察官を模した服装などユニークな姿で会場を大いに沸かしていました。



**首都圏大学の若者の
視点を活かす**
法政大学院生7人が来町

6月10日から14日まで、法政大学大学院デザイン工学部建築学科の学生7人が来町しました。

同大が昨年9月に町内で開催された「ウッド・イン・カルチャー」木のある文化へ」に参加したのがきっかけで、現在、町が策定を進めている第8期総合計画や地方版総合戦略、駅前再整備に首都圏の大学生の提言を参考にしようという町が依頼したものです。

事前に町内視察、町民との懇談を行い現状把握した上で、新得高校生や主婦などの町民を交えたワークショップを開催し意見を出し合いました。学生たちは今回出た意見などをまとめ、7月末に再度来町し提言を行う予定です。

**新得町花火大会
名称決定！**
「輝一夜」新得花火大会
夢見草 SAKURAS

新得町花火大会実行委員会（林乙彦委員長）は今年の花火大会の名称を「輝一夜（かがやきひとよ）新得花火大会」に決定しました。

同実行委は9月5日に開催を予定している花火大会の名称を町内の小・中学生から募集したところ、37人から48点の応募がありました。

採用された名称は、渡部凜さん（新得小5年）の作品で、「花火大会の夜は光が輝く特別な夜だから」という意味でつけられました。

どの応募作品も良いものばかりで、選考するのに苦労したとのことでしたが、林委員長は「花火は一夜限りで、町木の桜のようにあつという間に散ってしまうが、みんなの心に残る夢のような花火大会にしたいという思いから決定した」と話していました。当初は予定していなかったキャッチフレーズも応募作品の中から選定し、鶴沼心優さん（新得小1年）の「夢見草は桜の別名。桜は新得のシンボル。桜だと春っぽい夢見草は夜空に咲く大輪の花火に合う」という意味の「夢見草（ゆめみそ） SAKURA」としました。



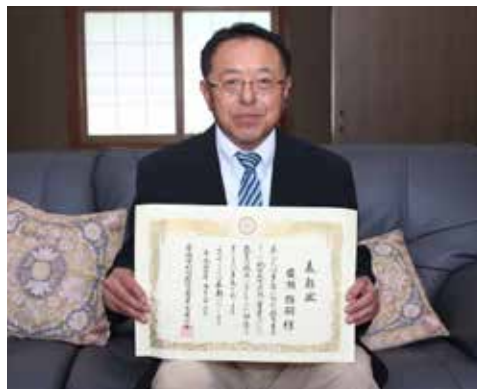
**5年ぶりに
夏シーズン再開**
クラブメッド北海道が町内小学生を招待

クラブメッド北海道は7月3日、5年ぶりに夏シーズンの営業を再開しました。

この日は、クラブメッド北海道が地元の子供たちに同施設をもつと知ってもらおうと町内の全小学6年生45人を招待し、空中ブランコやジャグリング、ボディーペインティングなどを体験してもらいました。

初めて体験する空中ブランコに及び腰な子も。

同施設の夏シーズンの営業は10月11日までです。



**13年半の教育行政で
多大な尽力**
廣瀬元教育委員長に全国市町村教育委員会連合会表彰

教育委員を7年間、教育委員長を6年半務めた廣瀬顯嗣さんに「全国市町村教育委員会連合会功労者表彰」（全国市町村教育委員会連合会実施）が贈られました。

廣瀬さんは、平成12年10月に教育委員、同19年10月から教育委員長になられ13年半もの長きにわたって教育行政に尽力されました。

廣瀬さんは「周りの皆さんに支えてもらったおかげで頂けた賞だと思っています。教育行政は常に変化していくもので、それに対応していく大変さがあつたが、子供達の元気や笑顔が何よりの力になりました」と話していました。



救助訓練を行う新得消防隊員

**隊員の連携と技術向上
平成27年度西十勝消防組合職員
技術訓練会**

平成27年度西十勝消防組合職員技術訓練会が6月18日、新得山新得町立自然公園で開かれ、新得清水、芽室の3署から約35名が参加しました。

この訓練は、応用技術及び各種資器材の活用、取扱の訓練を行い、隊員相互の連携と技術の向上及び士気の高揚、隊員の活動強化を図ることを目的としています。

今回の訓練では、「林道を散歩中の男性が崖下へ約20m滑落し動けない状況」を想定し、3署、3隊が各資器材を活用し、人命救助活動を行いました。



**きれいなまちへ
新得建設協会道路草刈り**

新得建設協会（植村高愛会長）のボランティアによる道路草刈り清掃が6月18日、12事業所約30人が参加して行われました。今年で7回目の実施となります。

浜田正利町長が「1日安全に事故がないよう作業してほしい」とあいさつ。参加者は手鎌や草刈り機を手し、国道38号線から西1線までの道道夕張新得線（オダッシュ通り）、本通りなどの町道の両脇に長く伸びた草を約3時間かけて除去しました。

見通しも良くなり、道路もきれいになりました。



**先人の苦勞を偲ぶ
苦闘之碑・鎮魂の碑慰霊式**

鉄道工事犠牲者を追悼する「苦闘之碑慰霊式」（町観光協会主催）が6月26日、町狩勝高原園地にある碑の前で行われました。

旧狩勝落合ー新得間建設工事では、最大難所の狩勝隧道で多くの労働者が犠牲になったと伝えられています。

慰霊式には清水輝男会長など23名が参加し、黙とうをした後、献花をして労働者の冥福を祈りました。

また、この日は屈足湖畔にある「開拓労働者鎮魂の碑の慰霊式」（町主催）も行われ、拓殖鉄道や北電岩松ダム工事などで過酷条件下で働いた労働者に哀悼の意をさげました。